

2021年10月17日

2022年度 大学院経営管理研究科

経営管理専攻 修士課程

入学試験（経営管理プログラム）

【小論文試験問題】

以下の文章は、バルーク・レブ、フェン・ゲー著『会計の再生 21世紀の投資家・経営者のための対話革命』から抜粋したものである（抜粋に際して、一部の小見出しを省略するとともに、文章の一部を改変している）。

この文章を読んで、以下の全ての問いに答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- (1) 図1を踏まえて、「無形資産の革命」とはなにかを、150字以内で説明しなさい。
- (2) 下線部(A)に関して、「無形資産が、ハイテク事業やインターネット事業、医療品事業ばかりで価値を生み出しているわけではないことを知ることは重要である」理由を、小売業を例にとりながら、250字以内で説明しなさい。
- (3) 下線部(B)に関して、①会計基準設定者は内部で創出された無形資産（自己創設の無形資産）と取得した無形資産をいかなる理由に基づいて、どのように区別しているのか、②著者は区別することに反対しているが、その理由は何か、を350字以内で説明しなさい。
- (4) 下線部(C)には、研究開発費以外の主要な無形資産については、「情報の遮断」があると指摘されている。図2を参考にして、情報の遮断がいかなる問題を生じさせているのかを、150字以内で説明しなさい。

【文章】

この部分の文章・図表は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章・図表は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

出典：バルーク・レブ、フェン・グー著『会計の再生 21世紀の投資家・経営者のための対話革命』中央経済社、2018年、pp.115-127.